

記 者 発 表 （ 発 表 ・ 資 料 配 布 ）				
月／日(曜日)	事務所等名	電 話	発表者（担当者）	その他の配布先
1 / 2 0 (月)	北播磨県民局 県民躍動室 地域振興課	0795-42-9080	室長 多田敦生 (課長 伊藤明洋)	西脇市 丹波市 丹波県民局

第2回 マルトリエの開催 ～楽しみながら地域課題に触れよう～

〈JR 加古川線（西脇市－谷川間）利用促進・活性化事業（わが町考え隊事業）〉

北播磨県民局では、JR 加古川線（西脇市－谷川間）の利用促進を図るため、駅周辺の賑わいづくりや地元意識高揚等に向けた「わが町考え隊事業」を行っています。

昨年度に引き続き、この事業を委託している hesocityclub 代表 堀井 悠次氏により、マルシェと組み合わせた気軽な雰囲気の中で、JR 加古川線や地域課題について意見交換を行うイベント「マルトリエ」を開催します。（※「マルトリエ」は「マルシェ」と「アトリエ」を合わせた堀井氏の造語）

この機会に、加古川線や地域の未来のことについて語らいませんか？

1 日時 令和7年2月9日（日）10時～15時

2 会場 西脇市茜ヶ丘複合施設 Miraie 1 階 ビューループ

3 内容

JR 加古川線（西脇市－谷川間）や他のローカル線に関する情報等を会場に掲示し、マルシェと組み合わせた気軽な雰囲気の中で、来場者と hesocityclub スタッフが、加古川線や地域課題について意見交換を行う住民参加型イベント（出入自由）。

(1) メッセージボードの掲示

来場者に JR 加古川線（西脇市－谷川間）への想いを紙に書いてもらい、メッセージボードに掲示する。

(2) 意見交換

マルシェを楽しみながら、地元住民等の来場者が、hesocityclub スタッフと JR 加古川線や地域課題について自由に意見交換を行う。

(3) 地元店舗によるマルシェの出店

- ・ HINODE scones! (スコーン・ベーグル)
- ・ お惣菜 maikka (弁当)
- ・ つむぎ菓子店 (洋菓子)
- ・ 綾 cafe (ドリンク)
- ・ be-in by (弁当・ドリンク・書籍)

4 問い合わせ先

hesocityclub 代表 堀井 悠次

〒677-0015 西脇市西脇 138-2 TEL 070-3307-6597

北播磨県民局 県民躍動室地域振興課

〒673-1431 加東市社字西柿 1075-2

TEL 0795-42-9081

FAX 0795-42-7535

(参 考)

【「第1回マルトリエ」(R5.12.10)の様子】



メッセージボードの掲示



来場者との意見交換



地元店舗によるマルシェ

【わが町考え隊事業】

1 目 的

J R加古川線（西脇市－谷川間）駅周辺等の賑わいを創出する。

2 内 容

地域住民等が中心になり、J R加古川線（西脇市－谷川間）の地域活性化策を検討し、実施する。（地域住民等に委託）

3 受託者

hesocityclub(ヘソシティクラブ)代表 堀井悠次氏

西脇市在住の堀井悠次氏を中心に、地域活性化策「hesocityclubプロジェクト」を展開

4 事業内容 (hesocityclubプロジェクト)

- ・ブログ等による沿線地域情報等の情報発信
- ・「マルトリエ」の開催
- ・他団体主催の加古川線(西脇市－谷川間)駅周辺イベントに出展し、同区間の利用促進等の情報を発信

5 hesocityclub スタッフ

役割	氏名	プロフィール
代 表	堀井 悠次 (ホリエウジ)	平成 30 年に大阪から西脇市へ移住。靴職人。自信のブランド「PAGPT(パゴット)」の革製品は、西脇市のふるさと納税返礼品にも採用。まちづくり団体「みんぐる」の代表も務め、地域課題に取り組む。西脇市在住
コラボレーター	平石 裕貴 (ヒライシ ヒロキ)	各地の鉄道路線を訪れる中でその魅力に圧倒され、ローカル線の維持振興に向けて活動中。追手門学院大学地域創造学部2年生。大阪府在住
コラボレーター	将積 颯太 (マサミ ソウタ)	ローカル線から地域を活気づけようと、利用促進に向けて活動中。私立西大和学園高校(奈良県)2年生。同校の人材育成プログラムの一環として参加。神戸市在住